



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

ロータリーを 祝おう 100年の歩み

2004～2005年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー — 横山 芳 郎
会 長 — 渡 邊 喜 彦
会長エレクト — 小 越 憲 泰(クラブ奉仕A)
副 会 長 — 渡 辺 勝 利(クラブ奉仕B)
幹 事 — 五十嵐 寿一
S A A — 船 越 正 夫
会 計 — 荻 根 澤 隆 雄

例 会 日 — 毎週水曜日 12:30～

例会場及び 事務局 — 三条市旭町2-5-10
三條信用金庫本店内

例 会 場 — TEL 35-3311

事 務 局 — TEL 35-3477
FAX 32-7095

E-mail:sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web:http://www.soho-net.ne.jp/rotary/

(はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)



本日の出席会員数	66名中 44名
先々週出席率	79.37 %

ゲ ス ト

三条リトルシニアリーグ

理事長 西潟勇智仁様

先週のメイクアップ

9/16 加茂へ

松谷昊吉さん

9/21 分水へ

細井増雄さん

9/21 三条北へ

樺山 仁さん、五十嵐晋三さん、

斎藤弘文さん、浅野金治さん、

加藤紋次郎さん

9/27 三条南へ

五十嵐晋三さん

9/27 新潟北へ

小越憲泰さん

9/28 三条北へ

斎藤弘文さん

会 長 挨拶

渡邊喜彦 会長



みなさんこんにちは。本日、卓話をお願いしております三条リトルシニアリーグの西潟さん、お忙しい中ありがとうございます。

先週の土曜日は会員でおられます石橋さんのところの御長男の結婚式に出席してまいりました。11代目としての活躍、発展を祈ります。

さて、アテネで開かれておりましたパラリンピック大会も本日をもって終了し閉会式が行われました。先日のオリンピック大会もご承知のように日本勢の活躍はすばらしいものがございましたが、今回の大会もそれに負けないすばらしい成績でありました。

五体満足の内々でもなかなか出来ないいろいろな競技にそれぞれの出場選手の活躍ぶりを見ておまして、深い感動を覚えたのは私だけではなかったと思います。

人は、とかく現在の幸せを当たり前と、つい感謝の心を忘れてしまいがちですが、改めて我々の恵まれて

いる環境や条件に感謝しなければならないのではないのでしょうか。

本日卓話をいただきます西潟さんの紹介をさせて頂きます。西潟さんは自分の事業を持たれる傍ら、小学生・中学生の生徒の皆さんに野球を通して、人間構成を教えられている立派な方です。後程、詳しい説明があるかと思しますので、以上、会長挨拶にさせていただきます。

幹事報告

五十嵐寿一幹事

次週は職場例会ですので、よろしくお願い致します。

10月のお祝い

会員誕生祝

18日 渡邊喜彦さん

24日 佐野勝榮さん

26日 吉井俊介さん

28日 石月良典さん

夫人誕生祝

3日 五十嵐幸子さん(晋三)

4日 広岡キクさん(豊作)

結婚記念祝

2日 石橋育於さん

3日 五十嵐晋三さん

5日 広岡豊作さん

10日 藤田紘一さん

10日 五十嵐寿一さん

10日 佐藤 武さん

10日 高橋 司さん

11日 山本福七さん

15日 浅野金治さん

15日 渡辺勝利さん

22日 斎藤真澄さん

25日 熊倉昌平さん

26日 松永一義さん

28日 細井増雄さん

100%出席賞

35年 熊倉昌平さん



ニコニコBOX

渡邊喜彦さん

だいぶ寒くなってまいりました。カゼなど引かぬ様、お気を付け下さい。

本日はリトルシニアリーグ西潟さん、卓話ご苦労様です。

山田富義さん

10月13日の例会日にGSE(GSE研究グループ交換)5名、韓国からお迎えしての例会となります。宜しくお願いします。

西潟理事長、今日のご苦労様です。

佐藤 武さん

3ヵ月、朝早く小1時間歩いております。天高く馬肥ゆる秋となりましたが、健康で日々を楽しんでおります。

高橋 司さん

三条リトルリーグ理事長西潟様、卓話ありがとうございます。

石橋育於さん

本日の卓話講師、西潟理事長をお迎えして。

外山雅也さん

台風21号が当地に被害を及ぼさぬことを願っています。

早川昭雄さん

西潟様、卓話ご苦労様です。

石月良典さん

西潟様、本日はありがとうございます。

会田二郎さん

西潟様、卓話ありがとうございます。

荻根澤隆雄さん

昨日は十五夜の月、今日は十六夜の月、天候が気になります。私は天動説の方が風情があって良いかも。

9月29日分 ￥ 11,000

今年度累計 ￥ 247,000

財団BOX

石橋育於さん

この度の長男の結婚披露宴に渡邊喜彦会長よりご出席いただき大変ありがとうございました。

松永一義さん

初孫が生まれました。男の子でした。3,300g元気な孫でした。

9月29日分 ￥ 13,000

卓 話

シニアリーグの活動を通じて観た「こども」

三条リトルシニアリーグ理事長 西潟勇智仁様



私は男の子を4人持っており、次男は3年間シニアリーグで野球をやり、その後、高校でも野球を続けました。中3の三男はシニアでやってきて、又高校でやります。中1の四男もシニアリーグの1年生でガンバっています。

そんな事で、シニア野球を通して子供達と関わった経験を通して話をします。

リトルリーグは小学校6年生までで、それを過ぎますと、中学生のシニアリーグが対象となり公式の野球チームを作ることができます。

それは中学生を対象とした硬式野球チームで、全日本リトル野球協会に全国で7つ、北海道から九州まで加入しており、三条は3つのブロックで構成される信越連盟で、新潟ブロックに属しております。

新潟ブロックは10のシニアリーグがあり、私共の三条リトルシニアリーグは三条ロータリークラブの渡邊喜彦会長から、昭和58年4月7日より、シニアリーグ会長をお引受けして頂きました。

県央を中心として、三条が13人、白根が5人、栄町が1人、吉田が3人、分水が1人、中之島が6人、見附が3人、計32名で編成し、練習日は水曜の夜、祝日など、去年は試合も含め活動日数は145日、一年の半分は野球に関わっております。

10月3日、4日と新人戦のブロック大会が大阪でありまして、上位3チームが全国大会へ出場出来る事を目標にガンバっております。

渡邊会長の絶大な協力の下で台湾高雄の中学を三条に招いて1回目の交流試合をしました。

我々の三条チームは中3ですが、先方の中3は実質的には高1で、招いたとき夜半の1時に来条したものですから、受け入れてくれるところがなく、ポエムで仮眠を取ってもらって、先方は台湾にはない文化を体験したということもありました。

5周年に前PL監督の(高校野球では神様)の中村順司監督を講師に記念講演をお願いした事もあります。

そして平成17年に創立10周年を迎えます。

さて、本題のシニアリーグの活動を通じてですが、シニアの野球は親の活動が切っても切れない面があります。

審判、これも父さん、母さんに講習を受けてもらってやります。試合にはアナウンスがつきものですが、それもお母さんがやります。交流試合が多いものですから、他所に行きますと、みそ汁など種々な接待をしていただきます。又、他所からチームが来た時にはこちらで接待をします。という風にいつも子供

の側にいるものですから、子供に種々な事を伝えるチャンスが多いです。

子供達は中学1年で入るときは身長は145cm位ですが、中3には170cm位、なかには180cmもいます。

体格の良くなる原因は、一言で言えば、きびしい練習にあります。走る事、バットは高校生と同じものを振らせる、一般の中学野球の倍の運動をします。

精神的な部分では、規律、あいさつは基本中の基本です。用具の管理をキチンとやらせる、自分のグローブや靴をきれいにします。

グラウンドマナーがありまして、グラウンドを整備したり、控室を掃除する事を当たり前の事とします。それらが規律と結びついています。

自己管理、体調管理が第一条件で、試合は勝たなければいけないので、負傷をしたり、休めばポジションが替わる心配がある危機感などで、よほどの病気で無い限り休みません。負傷しても出てきます。

勉強は試験など重なる時もありますが、絶対に成績を下げないことが基本です。成績が下がることはピンチだから、成績を下げないように指導しております。

そういう時に限って成績を上げてくる子もいます。

やはり自己管理ですが、泊まりの試合の時など、荷物を忘れることがあります。その辺の管理は親に話しますが、下着のはてから全部自分で準備をさせて下さいと子供にきつく言います。

遠征費は子供から、お父さん、お母さんにお願ひしますと言わせて下さい、そして有難うございますとキッチリ言わせて下さい、そうでないと子供がお金がかかるのは当たり前だと育っていったら、とんでもない事になりますとお願いしてあります。

松山と試合をしたことがありました。松山は連続20回出場の優秀チームですが、2:1で負けてガックリ肩を落とした姿を見たとき、言葉に言えない気持ちを感じました。これが子供の育つ姿なのか、と。

自分の子供が3年間中学と高校の弁当を作ってもらって母親に礼を言いました。

中学時代はわからなかったが、高校を終える時そういう気持ちが育ったと、我が子に感じました。

シニアリーグの活動は親も子も経験だと思っています。シニアリーグの野球を通して、勝つこと、負ける挫折感を感じ、背番号を取られたり、グラウンドを出て行けと言われてたり、いろんな事があります。

今は子供が少ないせいか、可愛がってしまう、無菌状態にしてしまいたがる。

我慢する。子供は困った時、その問題をドンドン解決している気がします。

子供達が種々な体験をするとき、親も一緒に体験をするんだと。

私はこのリトルシニアリーグ活動に参加させてもらい、そうした機会に恵まれたことを感謝しております。

次週例会 10月13日 通常例会「GSE歓迎例会」

次々週例会 10月20日 クラブフォーラム「地域報告」

